

(一社) 奈良県臨床心理士会会員の皆様へ

令和6年7月6日
一般社団法人 奈良県臨床心理士会
会長 石田 陽彦

一般社団法人奈良県臨床心理士会 第93回相互研修会のご案内

夏の強い日差しを感じるようになりました。

さて表記の研修会を下記の要項で開催いたします。この研修が有意義なものとなりますよう多数のご参加をお待ちしています。

1. テーマ

『災害発生時における連携体制構築に向けて、臨床心理士の可能性を探る』

2. 趣旨

元日の能登半島地震は衝撃的でした。誰もが被災者になる可能性があり、それが明日かもしれない、奈良県かもしれない、どこでも大きな災害は起こり、いつでも被災者になりうるという現実を突きつけられました。それは同時に被災者でありながら支援者にもなるということでもあります。しかし、災害が起こってから急に動き始めることはできません。平時から臨床心理士に何ができるのかを明らかにし、行政・支援団体と連携体制を築く必要があります。

今回の研修では、東日本大震災・紀伊半島大水害の際に県庁で精神保健福祉士として災害支援にあたっておられた村田清先生と DWAT（奈良県災害派遣福祉チーム）のご担当者をお招きして、奈良県で起こりうる災害に向けて、行政の体制や被災地での支援の実際について学びます。また、これまで災害支援をされてこられた先生方から被災地での支援の実際についてうかがい、臨床心理士会として果たすべき役割を明らかにし、平時から主体的に連携体制に取り組む第一歩にしたいと考えます。

3. 期 日 令和6年7月21日（日）10時00分～16時00分

4. 会 場 帝塚山大学学園前キャンパス 16号館16903教室
(〒631-8585 奈良市学園南3-1-3 近鉄学園前駅下車 南改札口 徒歩約1分)

※校内に駐車スペースはありませんので、お車でお越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください

5. 日程および内容（予定）

9:30～	受付開始
10:00～10:05	趣旨説明 全体司会：小林哲也先生（本会研修委員）
10:05～10:15	開会挨拶「阪神大震災時の臨床心理士」 石田陽彦先生（本会会長）
10:15～11:05	「発災時の行政の動きと臨床心理士に期待すること（仮）」 講師 村田清先生（精神保健福祉士，奈良県精神保健福祉センター）
11:05～12:10	臨床心理士の支援の実際 報告 Ⅰ「東日本大震災支援の体験から」 石田拓也先生（追手門学院大学，上本町心理臨床オフィス，本会会員） Ⅱ「紀伊半島大水害において、支援チーム」 川崎圭三先生（葛城市・こども若者サポートセンター所長， 本会副会長） Ⅲ「能登半島地震被災支援へSCとして」 津田尚子先生（関西女子短期大学教授，本会会員）
12:10～13:10	昼食休憩
13:10～14:00	「支援団体の実際 ～奈良 DWAT（奈良県災害派遣福祉チーム）の役割と実際」 講師 田中聡先生（奈良県福祉医療部総務課企画管理室 企画調整係係長） 石川美也子先生（奈良県社会福祉協議会 総務企画課課長兼企画係係長）
14:00～14:10	質疑応答
14:10～14:20	休憩
14:20～15:00	グループ討議 「もし奈良県で大規模災害が起こったら ～発災から生活再建期までを見通して～」
15:00～15:30	全体討議
15:30～16:00	部会活動
16:00	閉会

6. 参加資格 (一社) 奈良県臨床心理士会の会員（正会員・準会員・賛助会員）

および他都道府県臨床心理士会会員等

7. 参加費 正会員：無料 準会員：1000円 その他：3000円

8. 参加申込 人数把握のため事前申し込みをお願いいたします。
下記の Google フォームよりお申し込みください。

9. 申込先 <https://forms.gle/xUeXSPSquZevCUzT8>

申込締切：令和6年 7月 18日（木）



10. その他

(1) 研修ポイントについて：本研修会は(財)日本臨床心理士資格認定協会の定める教育研修規定に基づく研修会です。講師等は4ポイント、受講者は2ポイント（全日の参加）を申請予定。

(2) 年会費のお支払いについて：銀行振り込みでのお支払いをお願いいたします。

11. 後援 帝塚山大学